

●熱中症対策、及び、体調不良・怪我、等の報告

- **防暑垂れをつけ、水筒は各自持参し持ち歩いて下さい**
(できる限り、空調服も着用してください)
(年齢と共に、喉の渇きの自覚がなくなるので、わざわざ飲みに行かなくなります。
自分専用の水筒を持ち歩き、飲む量、頻度を管理して下さい。)
- **体調が万全でない場合(寝不足、風邪気味、下痢等)や、**
持病を持っている場合(糖尿病、腎不全、その他、薬を飲んでいる場合等)は、
職長にその旨を伝えて、周囲からも注意を払ってもらえるようにして下さい。
(各自の持病も皆で共有認識し、体調は全員でお互いに気を配って管理して下さい。)
- **それでも、暑さによる体調不良を感じた時は事務所にすぐ報告する事。**
初期の症状でも感じたら(1度:めまい、こむら返り、大量の発汗)即報告して下さい
- **その他、どんな些細な怪我でも必ず、事務所に直ぐ報告する事**
(私病で不調になっても報告の事)
特に、熱中症の場合、医療処置(点滴等)をせず休憩していると、悪化します。
単に休憩してた為に、死亡に至った事例が、毎年、発生しています。